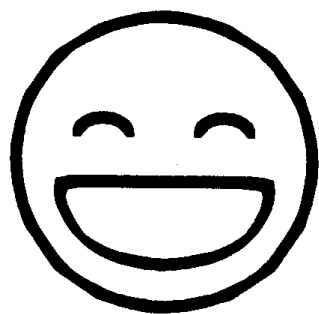


HSK NPO 法人「文福」ニュース



「障」ちゃん



NO.315

冒頭の一言

9月になりましたが、まだまだ暑い日が続いています。皆さん、体調はお変わりありませんか。

私は年齢を重ねたせいもあるのでしょうか、近年の厳しい暑さに年々夏バテがひどくなり、体調を戻すのにも苦労しています。

まだしばらく残暑が続きそうです。どうぞ無理をせず、十分な休息を取りながら、少しずつ秋を迎える準備をしていきましょう。

今月号も、ごゆるりとお読みいただければ嬉しく思います。

kaokao

—もくじ—

冒頭の一言	… 1	つながりが広がるインクルーシブ in 氷見	… 2
ポツチャ報告	… 3	ありがとうございます	… 4
2026 年 7 月 7 日 障害者部会報告	… 5		
季刊誌「まっち 36 号」原稿大募集!	… 6	Penko	… 7
ありがとうコーナー	… 8		

つながりが広がるインクルーシブ in 氷見

波乃 サザエ

先日、『インクルーシブ in 氷見』という福祉イベントに参加しました。会場には事業所や個人のお店がたくさん並び、食べ物や雑貨、体験コーナーなどがあり、とてもにぎわっていました。財布を家に忘れてきたことに気付きました。まるでサザエさんです。ペンネームは『サザエ』とつけました。電子マネーが使えるお店では何とか焼きそばを買うことができ、お昼ご飯には困りませんでした。しかし、現金のみのお店では「おいしそう…」「かわいい…」と思いながら眺めるだけ。少し切ない気持ちになりました。

会場ではボールを使ったエクササイズにも参加しました。体を動かしながら自然と笑顔になり、少し気恥ずかしかったですが、イベントならではの楽しい時間を過ごすことができました。会場では、それぞれの事業所や出店者が自分たちの得意なことを生かして参加し、来場者も思い思いにイベントを楽しんでいました。立場や年齢、障害の有無に関係なく、一人ひとりが自然にその場に溶け込んでいる雰囲気がとても印象的で、「インクルーシブ」とは誰もが気軽に集い、つながりを築けることなのだと感じました。

後日、同行援護従業者養成研修で、『インクルーシブ in 氷見』の主催者側の方と知り合うことができました。「これからイベントにたくさん誘いますね♪」と、うれしい言葉をかけていただき、イベントで生まれたつながりが、その日限りではなく次の出会いへと広がっていくことを実感しました。これからもさまざまなイベントに参加し、多くの方と交流を深めていきたいと思います。そして次回は、財布の確認を忘れずに出かけたいと思います。



ボッチャ報告

去る7月11日(土)の午後、富山市蜷川にある富山市障害者福祉プラザにて、「ぼっチャDEあそボッチャ！」を開催しました。

31名が参加し、様々な障害のある方・事業所のスタッフなどが集まりました。

自己紹介、選手宣誓の後、ウォーミングアップで、音楽に合わせて体育館を走ったり歩いたりして体をほぐしました。2つのコートに分かれて前半の競技を行い、3～4名のグループで赤または青のボールを投げ合いました。

初参加の方も数名いて、和気あいあいとした雰囲気の中で競技が進みました。

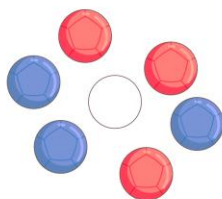
途中「ハーフタイム」を設け、夢宙人メンバー2名が「みいちゃん、けんちゃん」というユニットを組んで、ピンクレディーの「UFO」を踊りました。曲に合わせて参加者たちも踊り出し、その後は「マツケンサンバⅡ」「パプリカ」と続き、盛り上がりしました。

後半の競技を行い、3～1位決定戦。前半・後半とも熱戦が繰り広げられました。表彰式の後、片付け・掃除を行って解散となりました。

後日、「楽しかった！！」という声が多く寄せられました。多数のご参加ありがとうございました。

次回は、来年の3月に行う予定です。日時が近づきましたらお知らせしますので、多数の参加をお待ちしております。

報告：森田



ありがとうございます

「障」ちゃんニュース・「まっち」を読んでくださっている会員の方から、前福田理事長への思いが書かれたお便りが届きました。

掲載をお願いしたいとのことでしたので、原文のまま掲載します。ご了承ください。

Y.M

暑くなりました。皆様、お元気ですか。

福田さんが亡くなられたこと知り、大変に残念に思い、ご冥福をお祈りさせていただきます。

私はもう十年以上も前から「障」ちゃんニュースを送って頂いているのですが、皆様の活動には一步も踏み込むことができずに過ぎました。そのことを残念に思っている次第です。その間、皆様は地道にニュースと季刊誌の発行を続けられました。皆様は、障ガイ者を守る富山の砦としての役割を立派に果たしておられると、私は思っています。ご苦労様でした。

私も七十年代の学園紛争の時に十代後半を過ごし、ベトナム反戦や各地の公害闘争に関わって、同人誌を作ったこともありました。その頃に、直接行動で抗議をする「青い芝の会」の映画を見て、「すごい人達が居るな」と感動したことを覚えています。福田さんも、その頃から法人を立ち上げられたのでしょうか。控えめな人でしたが、人を立てるのが上手な人だと思って見ていました。

二千年代に入り、国鉄や郵政の民営化、大学入試の一本化などを経て、革新を目指す団体はすべて消滅の一途にあるようです。そして世の中は、少子化が進み、人口減が進む事態になりました。世の中が、住み辛くなっている証でしょう。そして、地球温暖化と云う、巨大な公害問題が立塞がりました。また出生前診断が進められていると聞きます。それは、障ガイ者差別の助長に留まらず、人種差別の問題に発展することを危惧します。科学の力に、命の尊厳が破られました。

そのような時に、福田さんは旅立たれました。今頃は、日下さんと二人で、手を繋いで楽しく歩いて居られることでしょう。

最後になりましたが、後を継ぐ皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

文福 皆様 七月三日

2026 年 7 月 7 日 障害者部会報告

① 部会の通帳について

現在、障害者部会の通帳は富山銀行五福支店を利用しているが、事務所から遠く不便なため、北陸銀行へ変更することとした。

7 月 14 日(火)に北陸銀行へ行き、北陸銀行の通帳を作成する予定である。

② 障害者部会員を増やすためのリーフレットについて

障害者部会のリーフレットは、すでに富山市役所、富山県社会福祉協議会、自立生活支援センター富山、あかりハウス、らっこハウス、サンシップ等へ配布した。

今後は、配布先にリーフレットが引き続き設置されているか確認するとともに、市内のさまざまな施設で新たに設置してもらえる場所を探していく。

③ 今後の部会活動について

地域のバリアフリー状況を確認するため、さまざまな場所を訪れ、障害者、高齢者、ベビーカーを利用する方々にとって使いやすい環境になっているか調査していきたいと考えている。

特に、自分たちが住んでいる地域の公民館、避難所、飲食店、ドラッグストア、コンビニなどを重点的に調べていく。

また、今後取り組みたい活動として、昨年度実施したコンサートのようなイベントを再び開催したいという意見が出て、それに向けて少しずつ準備を進めることとし、それぞれが心当たりのあるアーティストなどに声をかけながら、具体的な検討を進めていく。

④ 次回の部会について

次回の部会は 8 月 4 日(火)14 時から開催予定だったが、当日はサンフォルテで研修会があり、M 氏が参加するため、8 月 18 日(火)14 時から開催することとした。

報告：中村

季刊誌「まっち 36 号」原稿大募集！

季刊誌「まっち」個人史・社会問題・そして人と人を結ぶことを目指し発行しています。

その「まっち」35 号テーマ『涙』を発行する事ができました。

これもひとえに皆さんが原稿をお寄せ下さったおかげだと思っています。この場をおかりしてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

次号のテーマは『怒りと笑い』です。

この相反するテーマを皆さんがどのようにとらえ、どのように書いて下さるのか、編集者一同、今からワクワクしています。

『怒り』と『笑い』を別々の作品として書いて頂いても構いません。

貴方の『怒り』や『笑い』をぜひ【まっち】にお寄せください。

皆さんからのステキな原稿を、編集者一同心よりお待ちしております。

もちろん、他のテーマや詩や俳句、川柳、短歌、イラスト(絵)等の原稿もお待ちしております。

メールでの投稿：macchitti@gmail.com

FAX での投稿：(076)460-0390

郵便での投稿：〒930-0138 富山市呉羽町 7276-3

NPO 法人 文福『まっち』編集係

までお送り下さい。よろしくお願い致します。

尚、『まっち』を一読されてみたい方、文福事務所に常時置いてあります。上記に記した連絡先にご連絡ください。

『まっち』編集者一同



Penko のおひとりさま 珍道中!! (Part79)

新高岡駅のすぐそこに「イオンモール高岡」があり、その中に「猫カフェ」と「豚カフェ」があります。

「猫カフェ」は、1階の東館の「トイザラス」の近くにあり、いつもお店の外から眺めています。猫ちゃんたちがとっても自由気ままに動いています。

「豚カフェ」は、2階の西館にあり、4月下旬にオープンしました。家族からそのことを聞いて見に行きました。

マイクロブタがたくさんおり、中から「ブヒ～、ブヒ～」という声が聞こえてきます。販売もされており、展示された豚さんたちが何頭も折り重なって眠っていました。しっぽが長くて動きがとってもかわいいです。

どちらも車いすで入るには、中がそれほど広くないのと、土足では難しいということを知りました。

その他に「トイザラス」の真ん前に子供向けの遊び場「ちきゅうのにわ」もオープンしていました。

イオンモール高岡は、東館と西館が2階の渡り廊下でつながっています。たくさんのお店や食べ物屋さんがあります。

最近は、富山市の「ファボーレ」と併せて、ウインドショッピングを楽しんでいます。



ありがとうコーナー



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後もよろしくお願いします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

7月28日夕方、熊本県で震度7の地震が起きました。その影響でイオンモール熊本がガス爆発したと知り、その光景をテレビで見て衝撃を受けました。たくさんのお客様を30分以内で避難させた後のことで、日頃の避難訓練の成果が生かされたそうですね。

地震で犠牲になられた方々に哀悼の意を捧げるとともに、揺れがおさまり、被災された方々が元の生活に戻れますよう、お祈りいたします。
(Penko)

2026 年度新規会員・継続会員

上澤 淳一さま 加賀 成美さま 大西 貞夫さま 山本 マリナさま
豊田 友子さま 青木 麻衣子さま 鈴木 栄さま 高場 千尋さま
三井 真知子さま 利光 恵子さま 中田 玲子さま 庄司 京子さま
谷口 良夫さま 野澤 美代子さま 椎 恵子さま 居石 真理さま

カンパ 青木 麻衣子さま 横山 順子さま

発行人:北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉312

編集人:特定非営利活動法人 ^{ぶんぷく}文福

〒930-0138 富山市呉羽町 7276 番地 3

e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp

HP: <https://bunpuku.org/>

TEL/FAX(076)460-0390

定 価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。